

11 特別支援教育部会	部会テーマ	障害の状態等に応じた子どもとのかかわりについて考える
内 容	子どもは、自分の思いや感情などを様々な方法で発信している。教師は、子どもが表す音声や目線の動き、表情などを受け止め、伝え返すやりとりを通して子どもを理解し、より良いかかわりへとつなげることが大切である。 本部会では、子どもの伝えようとする行為をどのように受け取り、返していけば子どもの主体的な学びを支えることができるのか考える機会とする。	
部 会 担 当	吉新 裕子（総合教育センター）	指導助言者 岡澤 慎一（宇都宮大学大学院）

※ 時刻はおよその目安です。予定時刻通りにならない場合もありますことを御了承願います。

発表①

特別支援学校における子どもと教師のかかわり

～調査研究を通して～

12時55分～13時20分

総合教育センター教育相談部 邊見 順平

当センター教育相談部では、今年度「障害のある子どもとのコミュニケーション」に関する調査研究に取り組んでいる。教師が子どもの発信を受け止めたり子どもに発信したりする際のポイントや、かかわりの工夫についてまとめ、発表する。

発表②

特別支援学校における子どもと教師のかかわり

13時25分～13時50分

県立今市特別支援学校 岡田 哲

本校は、本年度の調査研究協力校である。調査研究の趣旨を受け担任する児童1名を対象としてコミュニケーションに焦点をあてた実践を行ってきた。相互のやりとりの経過から、目指すべき子どもの姿や教師の有り様について、大切だと考えたことについて発表する。

指導助言

13時55分～14時25分

宇都宮大学大学院教育学研究科 岡澤 慎一